

令和4年度 伴走型小規模事業者支援推進事業（経営発達推進事業）

福知山市商工会 企業業況調査（新型コロナウイルス及びロシア・ウクライナ情勢関連）

令和5年1月調査結果（令和4年10月～12月分／令和5年2月公表）

■新型コロナウイルス感染症の影響を受けているか？

	全体		製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1.影響を受けている	55	67.9%	12	50.0%	13	72.2%	15	75.0%	15	78.9%
2.影響が出る懸念がある	17	21.0%	10	41.7%	1	5.6%	3	15.0%	3	15.8%
2.影響を受けていない	9	11.1%	2	8.3%	4	22.2%	2	10.0%	1	5.3%
計	81	100.0%	24	100.0%	18	100.0%	20	100.0%	19	100.0%

全体で67.9%（前回58.0%）の事業者が「影響を受けている」と回答しており、「経済活動の停滞がさらに長期化すると影響が出る懸念がある」を含めると88.9%（前回87.6%）が何らかの影響を危惧している状況にある。「影響を受けていない」は9件11.1%（前回10件12.3%）となっている。

■前期（令和4年7月～9月）の売上を100%とした場合、今期の売上比較は何%増減しているか？

	全体		製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1～30%減少	39	48.1%	8	33.3%	8	44.4%	13	65.0%	10	52.6%
31～60%減少	8	9.9%	5	20.8%	1	5.6%	1	5.0%	1	5.3%
61%～減少	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
増減なし	18	22.2%	5	20.8%	6	33.3%	4	20.0%	3	15.8%
1～30%増加	10	12.3%	5	20.8%	2	11.1%	0	0.0%	3	15.8%
31～60%増加	4	4.9%	1	4.2%	1	5.6%	1	5.0%	1	5.3%
61%～増加	2	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%	1	5.3%
計	81	100.0%	24	100.0%	18	100.0%	20	100.0%	19	100.0%

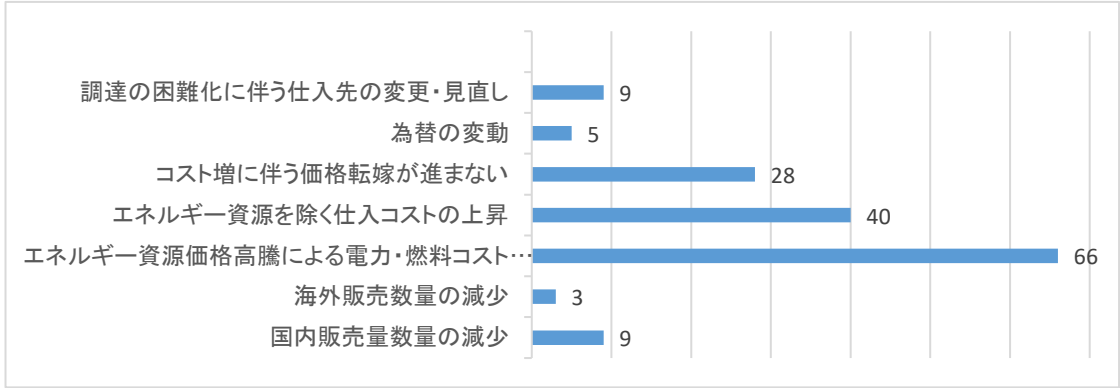
前期（7月～9月）との売上比較では1～30%減少が48.1%と最も多く、31%～以上減少を合わせると58.0%が前期に比べ売上が減少している。
業種別に減少事業者数を見ると製造業は13件54.1%、建設業は9件50.0%、卸小売業は14件70.0%、サービス業は11件57.9%となっており、特に卸小売業での減少が多い。
一方、増加は製造業6件25.0%、建設業3件16.7%、卸小売業2件10.0%、サービス業5件26.4%となっている。

■ロシア・ウクライナ情勢の影響を受けているか？

	全体		製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
現在影響がある	47	58.0%	14	58.3%	9	50.0%	15	75.0%	9	47.4%
今のところはないが、先行きに懸念がある	28	34.6%	8	33.3%	7	38.9%	4	20.0%	9	47.4%
影響は全くない	6	7.4%	2	8.3%	2	11.1%	1	5.0%	1	5.3%
計	81	100.0%	24	100.0%	18	100.0%	20	100.0%	19	100.0%

全体で58.0%（前回64.2%）の事業者が「現在影響がある」と回答しており、前回調査より6.2ポイント下降しているものの、全体の34.6%は「今のところ影響はないが、先行きに懸念がある」と回答しており、何らかの影響を危惧している。

■具体的な影響（懸念を含む）について（複数該当する場合は複数選択可）



最多は「エネルギー資源（原油・天然ガス等）価格高騰による電力・燃料コストの上昇」が66件、次いで「エネルギー資源を除く仕入コストの上昇」が40件となっており、前回調査同様、コスト面に関する懸念が1位2位を占めた。